

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-524944 (P2020-524944A)
 【公表日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-033
 【出願番号】特願 2019-570077 (P2019-570077)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

H 0 4 B 1/7143 (2011.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 L 27/26 1 1 3

H 0 4 B 1/7143

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 3 2

H 0 4 W 72/04 1 3 4

H 0 4 W 72/04 1 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 7 日 (2021.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送信機によるワイヤレス通信のための方法であって、

スロット内のスロット内周波数ホッピングが有効または無効にされるかを決定するステップと、

送信時間間隔 (TTI) の前記スロットのシンボルの第 1 のセット内でアップリンク制御情報 (UCI) を送信するために利用可能な周波数リソースの第 1 のセットおよび前記スロットのシンボルの第 2 のセット内で UCI を送信するために利用可能な周波数リソースの第 2 のセットを、スロット内周波数ホッピングパターンに基づいて決定するステップであって、前記スロット内周波数ホッピングパターンが、前記スロット内の前記 UCI の送信に割り振られたシンボルの数に基づいて決定される、ステップと、

周波数リソースの前記決定された第 1 のセットおよび周波数リソースの前記第 2 のセットを使用して前記 UCI を送信するステップとを含む、
方法。

【請求項 2】

前記ホッピングパターンに対応する周波数ホッピングを有効または無効にするための構成が、ユーザ機器固有である、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ホッピングパターンに対応する周波数ホッピングを有効または無効にすることが、半静的に構成される、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ホッピングパターンが、前記スロット内のフローティングホッピングシンボル位置に基づく、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記スロットが、前記UCIの送信に割り振られたシンボルの第1のセットおよび前記UCIの送信に割り振られていないシンボルの第2のセットを含み、

シンボルの前記第1のセットが、偶数のシンボルを含み、

前記フローティングホッピングシンボル位置が、シンボルの前記第1のセット内の中央のシンボルに対応し、または

前記スロットが、前記UCIの送信に割り振られたシンボルの第1のセットおよび前記UCIの送信に割り振られていないシンボルの第2のセットを含み、

シンボルの前記第1のセットが、奇数のシンボルを含み、

前記フローティングホッピングシンボル位置が、シンボルの前記第1のセット内のシンボルの数を2で割った値に最も近い2つの整数のうちの1つであるシンボル数を有するシンボルに対応する、

請求項4に記載の方法。

【請求項6】

スロット内のスロット内周波数ホッピングが有効または無効にされるかを決定する手段と、

送信時間間隔(TTI)の前記スロットのシンボルの第1のセット内でアップリンク制御情報(UCI)を送信するために利用可能な周波数リソースの第1のセットおよび前記スロットのシンボルの第2のセット内でUCIを送信するために利用可能な周波数リソースの第2のセットを、スロット内周波数ホッピングパターンに基づいて決定する手段であって、前記スロット内周波数ホッピングパターンが、前記スロット内の前記UCIの送信に割り振られたシンボルの数に基づいて決定される、手段と、

周波数リソースの前記決定された第1のセットおよび周波数リソースの前記第2のセットを使用して前記UCIを送信する手段とを含む、

装置。

【請求項7】

コンピュータ上で実行されたときに、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法を実行するための命令を含むコンピュータプログラム。